

伊仙町にどしんと3千万円

出身事業家の父子ら3社 企業版ふるさと納税

【徳之島】大阪府を「業を展開する伊仙町出業2社、提携企業の計3社がこのほど、伊仙町に対し、1千万円に、不動産関連事業の事業家と子息の企



巨額の企業版ふるさと納税を寄せた久保進社長（左から5人目）と息子の宏太社長（同4人目）ら



久保社長に呼応したゴールドファステート有田社長（左から6人目）ら—いずれも伊仙町提供

業版ふるさと納税を寄せた。大久保明町長ら町当局は3社に感謝状を贈り、ふるさとへの厚い思いとアクションをたたえた。

3社は、大阪府内を中心に戸建て分譲や宅地開発、収益用マンション・分譲マンション開発、オフィスビル賃貸事業などを幅広く展開する▽株式会社ヒサフジ（本社・大阪市北区中之島、久保進代表取締役）伊仙町伊仙出身）▽株式会社アドバンス（本社・同、久保宏太代表取締役）▽提携関係企業の株式会社ゴールドファステート（本社・同市中央区、有田優代表取締役）。

久保進社長（66）については、ふるさと納税制度スタート直後から個人的に年間200万〜300万円ずつ寄付を続けている。今回の企業版ふるさと納税は「会社設立30周年の年でもあり息子（3男の宏太社長）とも相談。納税はこちら（大阪）でも伊仙町にしよう」とも伊仙町に申し渡した。宏太は「二つのビルも建てた。パブル経済に乗らずに大阪中之島に堅実に発展させた。寄付金は教育や子育て支援を中心に有効に活用したい」と感謝していた。

あひ息子（3男の宏太社長）とも相談。納税はこちら（大阪）でも伊仙町にしよう」とも伊仙町に申し渡した。宏太は「二つのビルも建てた。パブル経済に乗らずに大阪中之島に堅実に発展させた。寄付金は教育や子育て支援を中心に有効に活用したい」と感謝していた。

気象情報会社ウェザーニューズは25日、今回のゲリラ雷雨の発生回数と特徴を発表した。全国で合計9万3590回となり、昨年比約20%増。鹿児島県は3817回（10平方キロあたり56回）で、昨年比1.2倍。過去5年平均比1.7倍とそれぞれ増加した。ゲリラ雷雨の発生回数が最も多かったのは8月下旬、次は9月中旬で、それぞれ昨年の同時期と比べ

鹿県、昨年今夏のゲリ

た都道府県は北海道の1万665回、次いで沖縄県の1万54回となった。月別にみると、全国の発生回数は7月2万7295回、8月3万9686回、9月2万6609回。一番多かったのは8月下旬、次は9月中旬で、それぞれ昨年の同時期と比べ